

くすりのしおり

内服剤

2022年07月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名: マイスリー錠 5mg

主成分: ゾルピデム酒石酸塩 (Zolpidem tartrate)

剤形: 淡いだいだい色の片面割線入り錠剤、直径約 6.6mm、厚さ約 2.7mm

シート記載など: マイスリー5mg、入眠剤、就寝直前服用、f601、ゾルピデム (Zolpidem)、社マーク、アステラス製薬、Myslee 5mg



この薬の作用と効果について

中枢のベンゾジアゼピン受容体に作用し、GABA系の抑制機構を増強して睡眠・鎮静作用を示します。通常、不眠症（統合失調症や躁うつ病に伴う不眠症を除く）の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。肝障害、重症筋無力症、急性閉塞隅角緑内障がある、過去にこの薬により睡眠中の異常行動があらわれたことがある、呼吸機能の低下（肺性心、肺気腫、気管支喘息、脳血管障害の急性期）がある、衰弱している、心障害、腎障害がある、脳に器質的障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回1～2錠（主成分として5～10mg）を就寝直前に服用します。なお、初めて服用する場合には、1回1錠（5mg）から服用します。年齢や症状・疾患により適宜増減されますが、1回2錠（10mg）を超えません。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・服用して就寝後、起床して活動するまで十分な時間がない場合や、睡眠途中に一時的に起床して仕事などを行う可能性がある場合は、健忘があらわれることがあるので、この薬を飲まないでください。
- ・飲み忘れた場合は、翌朝おきるまでにかなり時間があれば1回分を飲んでかまいません。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬を連用している場合は、医師の指示なしに、飲む量を変えたり、飲むのをやめないでください。かえって副作用がでることがあります。

生活上の注意

- ・この薬を続けて飲んでいくと、薬を摂取したいと強く思いコントロールが出来ないなど、薬物依存の症状があらわれることがあるので、長期間の使用は避けることとされています。このような症状があらわれたら、医師に連絡してください。
- ・翌朝以降にも眠気が残ったり、注意力・集中力・反射運動能力などの低下があらわれることがありますので、車の運転など危険を伴う機械の操作などは避けてください。
- ・この薬を飲む前後に飲酒をすると、精神機能・知覚・運動機能の低下が増強することがあるので、飲酒はなるべく控えてください。
- ・授乳中の方は、この薬を服用している間は授乳を避けてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、ふらつき、眠気、頭痛、残眠感、頭重感、めまい、不安、悪夢、気分高揚、吐き気、嘔吐、食欲不振、腹痛、動悸、発疹、かゆみ、倦怠感、疲労、下肢脱力感、複視、口渇、不快感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・薬をやめられない、（減量・中止時に起こる）不安感・眠れない [依存性、離脱症状]
- ・幻覚、意識が薄れる、判断力が低下する [精神症状、意識障害]
- ・入眠前・中途覚醒時の出来事を思い出せない、もうろうとする、眠っている時突然起き上がり無意識にしかし目が覚めているかのように歩きまわる [一過性前向性健忘、もうろう状態、睡眠随伴症状（夢遊症状など）]
- ・呼吸をしにくい [呼吸抑制]
- ・全身倦怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・錠剤を分割して使用するときには光を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。